

父の従軍・軍属経験のこと

匿名希望

父母が明石の川崎で飛行機を作っていたと時々話していました。父は日中戦争で国境守備隊としてノモンハンに行っていて、昭和 14 年のノモンハン事変でソ軍と中国軍の中間地帯に戦友数名が取り残され、1km 未満の距離を 3 日間か 4 日間ぐらいで敗走したそうです。先述の大東亜戦争では軍属として明石で終戦を迎えました。

先人の犠牲があって私達が今、幸せに暮らせること、自分としては子や孫に伝えることぐらいしか出来ないが、ここに来て又考えました。